

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	土肥伊都子	所属	神戸松蔭女子学院大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会 ジェンダー研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 18 名 (うち認定心理士 3 名)</p> <p>非会員 2 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>「アクティブに学ぶジェンダー」ならびに、「夫婦・家族関係における協同」(日本心理学会第 79 回大会公募シンポジウム) の 2 集会を行った。</p> <p>○公開研究集会の目的</p> <p>「アクティブに学ぶジェンダー」の公開研究集会は、昨今、大学教育で必要性が強調されているアクティブ・ラーニングにおいて、ジェンダーやセクシュアリティをどう取り上げていけばよいのかを検討することを目的とした。また、「夫婦・家族関係における協同」の公開研究集会は、インタビューなどの質的研究により夫婦の協同プロセスを明らかにし、男性の家事・育児への関与を高める方策やその阻害要因をさぐることを目的とした。</p> <p>○公開研究集会の実施内容・成果・将来計画</p> <p>・「アクティブに学ぶジェンダー」の公開研究集会で提供された話題内容は、以下の通りであった。まず研究会代表の土肥伊都子が、将来の配偶者に求める条件 (年収、年齢、職種、転勤の有無) について学生に考えさせる実験を紹介し、これが結婚に組み込まれたジェンダーに気づかせるのに有効である可能性があることを報告した。次に西尾亜希子氏が、大学生がお金に関することを他人任せにせず (特に女性の場合、男性に任せる傾向あり)、自分で対処すべく、金融リテラシーを高めるための教育の在り方を考察、提案した。さらに井ノ崎敦子氏が、DV 被害を受けた女性を対象として実施した心理教育プログラムの実践例を紹介し、それが安全で主体的な学びの機会を提供しており、被害者の心理的回復に一定の効果があつたことを報告した。</p> <p>・「夫婦・家族関係における協同」の公開研究集会で提供された話題内容は、以下の通りであった。まず、黒澤泰氏が、12 組の未就学児を育てる夫婦に対して夫婦間のストレス発生から収束までのプロセスを明らかにした、ジョイント・インタビュー法による研究を報告した。次に、増井秀樹氏が、1 歳 5 か月の子を持つ家族へのインタビュー調査研究を報告し、妻の妊娠や出産時に当事者意識を持ちにくい夫の、父親になる際の困難さについて考察した。さらに滑田明暢氏が、夫婦での家事分担が「形成」、「変化」、「維持」される中に、ジェンダー観が埋め込まれていく可能性があることを、複線径路等至性モデルを用いて考察した。</p> <p>・将来計画としては、ジェンダーをアクティブ・ラーニングで学ぶための著書 (研究会メンバーによって近日中に出版予定) を使った授業成果の発表会開催や、研究会メンバーからの自主企画による、セクシュアリティに関する映画鑑賞・評論会開催などを検討中である。</p>		

(様式4)

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人 日本心理学会 ジェンダー研究会				
研究集会開催日		2015年9月22日 「夫婦・家族関係における協同」		
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	伊藤 裕子	文京学院大学		
2	土肥 伊都子	神戸松蔭女子学院大学人間科学部	876294	
3	滑田明暢	滋賀大学国際センター	080370	
4	増井 秀樹	京都大学 人間・環境学研究科		
5	黒澤 泰	茨城キリスト教大学		
6	小崎恭弘	大阪教育大学		
7	安田裕子	立命館大学		
8	水澤 慶緒里	関西学院大学大学院 文学研究科 総合心理科学専攻	70243	
9	小野寺哲夫	立正大学		
研究集会開催日		2015年9月24日 「アクティブに学ぶジェンダー」		
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	青野 篤子	福山大学人間文化学部		12204
2	赤澤 淳子	福山大学人間文化学部心理学科		
3	石野 陽子	島根大学教育学部		1493
4	井ノ崎 敦子	徳島大学保健管理・総合相談センター	090198	
5	上野 淳子	四天王寺大学人文社会学部社会学科	982508	
6	澤田 忠幸	愛媛県立医療技術大学保健科学部 看護学科	982028	
7	高橋 恵子	聖心女子大学名誉教授		381
8	東福寺 一郎	三重短期大学	874873	
9	土肥 伊都子	神戸松蔭女子学院大学人間科学部	876294	
10	滑田明暢	滋賀大学国際センター	080370	
11	西尾亜希子	武庫川女子大学		
12	福富 護	東京学芸大学名誉教授	962508	
13	増井 秀樹	京都大学 人間・環境学研究科		
14	水澤 慶緒里	関西学院大学大学院 文学研究科 総合心理科学専攻	70243	
15	望月 雅和	東京大学 先端科学技術研究センター	90172	

(様式5)

2015年12 月 16 日

日本心理学会研究会 2015 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会ジェンダー研究会

研究会番号 研15004

助成金額 ¥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2015年9月22日	非会員大会参加費	¥12,000
	講師旅費	¥14,560
	講師謝礼	¥10,000
2015年9月24日	非会員大会参加費	¥12,000
	講師旅費	¥13,760
	講師謝礼	¥10,000
支出合計		¥72,320